

生活支援まつどネット 講演会

日常の中から防災を考える

～3日間 生き抜くために～

大きな災害にあった場合、公的機関の救援や支援が入るまで、災害の状況にもよりますが、3日間程度かかるといわれています。災害にあってからの3日間をどうのりきるか。自分の身の回りからできることを中心にかんがえてみませんか？

日時 平成19年2月18日(日) 13:00～15:30
場所 流通経済大学 新松戸キャンパス 201教室
資料代 300円

第1部 (移動寺子屋)

日常の中から防災を考える

講師 村井雅清氏

震災がつなぐ全国ネットワーク顧問

「震災がつなぐ全国ネットワーク」は全国各地で災害弱者支援の活動・講演などを『移動寺子屋』として展開されています。

今回はそのネットワーク顧問の村井氏をお招きし、ご自身の体験と各地の実践を交えた、防災について、街づくりについてお話いただきます。

第2部

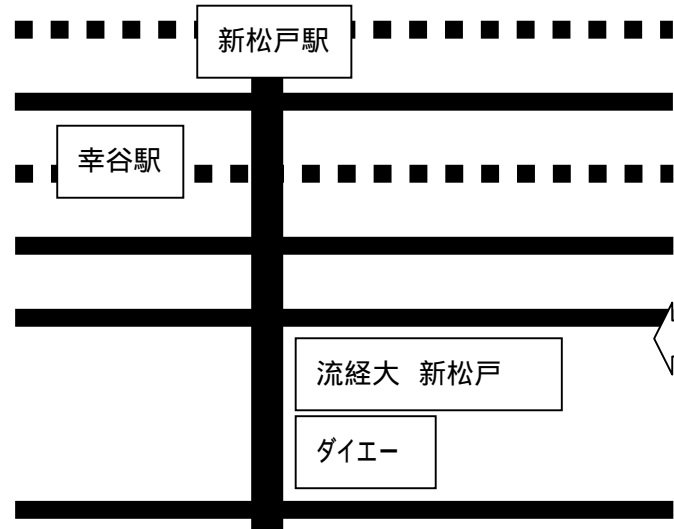
地域での実践と意見交換

松戸市内の取り組みと課題

松戸市内でも様々なかたちで、防災に対する取り組みがされています。

大災害にあった時、救援物資や支援が受けられるまでの間をどう乗り切るのか。

どんなことが必要なのか、日頃からできることは何かを、地域での実践や課題を報告してもらい、皆さんと一緒に考えたいと思います。



「生活支援まつどネット」は松戸とその近隣の生活支援を行っている事業所や当事者の団体です。

問い合わせ先

NPO法人はなまる(担当 幡谷)

電話 047-386-2028

会場の流経大新松戸キャンパスには駐車場がありません。公共交通機関のご利用をお願いします。

この講演会は「震災がつなぐ全国ネットワーク」に協力いただき実施するものです。